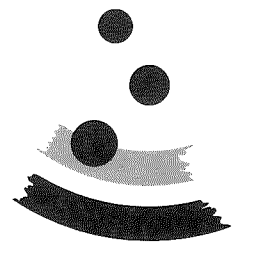


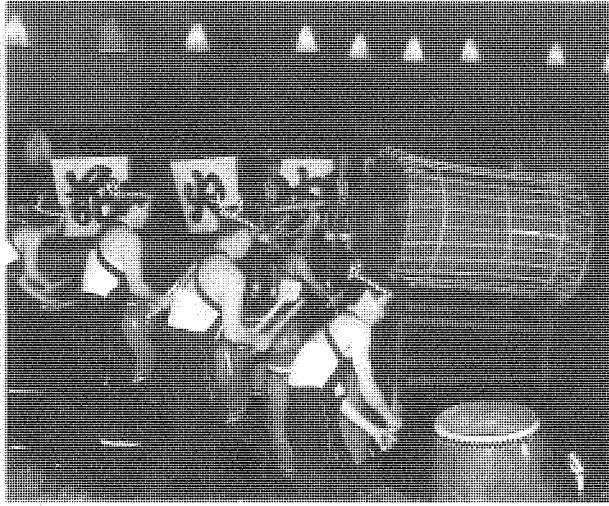
発行所  
片貝新聞社  
〒947-01  
小千谷市片貝町10367-4  
TEL・FAX 0258-84-3246  
編集発行人 吉原芳郎  
印刷所 吉原印刷機  
題字 黒崎敬渌氏



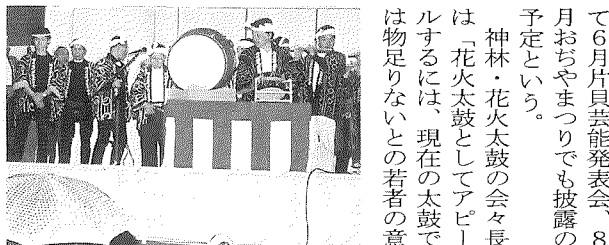
JA片貝町  
シンボルマーク  
天の恵み地の恵み

## 煙火協会が四尺玉に因み購入 迫力！四尺大締太鼓

春季大祭の24日、花火太鼓の会が初披露



浅原神社春季大祭が24、25の両日開催され、24日夜には片貝町伝統芸能保存会と片貝花火太鼓の会が奉納演奏を行なったが、花火太鼓の会は出来たての「四尺大締太鼓」を初披露した。この四尺大締太鼓は勿論秋季大祭に打揚げられる四尺玉花火に因んだもの。直径はちょうど四尺、長さ五尺八寸、重さは六十キログラム。煙火協会が県内の太鼓製作所に特注、約二カ月をかけて一週間前に届いたばかり。当日は生憎の雨、時折り強くそして雹まで降る荒天であったが、花火太鼓が始



まる直前にほとんど止んだ状態となった。相撲場を会場に設置、ライトアップされた四尺大締太鼓が境内に大きな音を響かせ、境内から大きな拍手が沸き起こった。本番の秋季大祭は勿論のこと、その「前哨戦」として6月片貝芸能発表会、8月おちやまつりでも披露の予定という。神林・花火太鼓の会々々々「花火太鼓としてアピールするには、現在の太鼓では物足りない」との若者の意見も、5月の読み聞かせ2日、10日、16日の3回小学生低学年を主な対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせのボランティア実施の「読み聞かせ会」の5月の活動予定は、5月2日(金)午後3時、10日(土)午前10時、16日(金)午後3時、の三回、いずれも片貝ふるさと会館で開催している。同会は毎月第一金曜日と第三金曜日、そして学校が休みとなる第二土曜日に開催している。子供達に本を讀み聞かせを知ってもらい、情操教育の一助にと継続している。毎回平均十八名前後の子供達が参加している。

## 市長選挙に思う

小出市長の辞意表明から二転、三転し、一時はどうなるのかと心配された市長候補も、早くから名前を出した人たちが一人、二人と消え、最後になつて名乗りをあげた山崎眺景議に落ち着き、無投票が濃厚のようにだ。前職が辞めての市長選挙で、無投票となるのは極めて稀な事態といえよう。しかし選挙戦までにはまだ間があるので、もう一波乱あるのか予断を許さない。

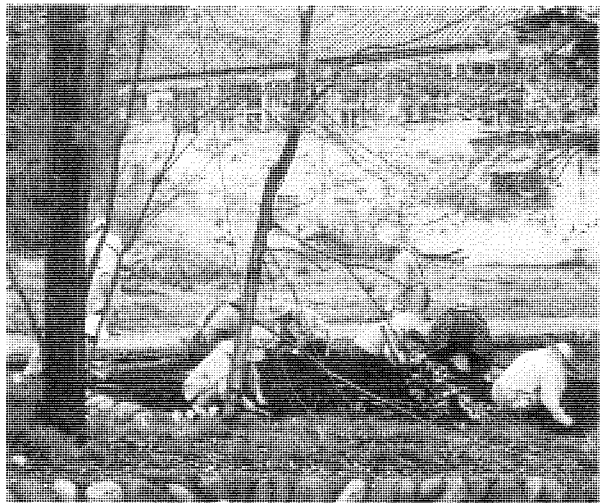
一つである片貝地区からは寂として誰一人名前がでないのは、なんとしてでも残念なことである。かつては政争の街ともいわれ、町を二分しての激しい選挙戦を展開したこともあったが、今は昔の夢物語となり、最近ではもっぱら草刈り場としての地位に甘んじて、町民同志でいみみあつていのが現状である。

## 主張

何事も声をださないほうが無難だと思つておられるのか。見方によつては時の流れに身をまかせようとする浮草のように無気力にも見える。そうなるか秋の片貝まつりの花火や策略があり、本来の政見や人物に焦点をあてた判断がなされたとも思われない。誰がどう動いた

この片貝も長年教育の街として自負してきたが、それは先人のやったことで現代の町民には関係ない。特に今回の市長の候補者選びをみると、あまりスマートに決まったとは言いがたい。いろいろな駆け引きや策略があり、本来の政見や人物に焦点をあてた判断がなされたとも思われない。誰がどう動いた

## まだまだ健在 伸竹会 片貝町をきれいにするぞ！ 旧片貝中跡を清掃奉仕



住宅とする予定であったが、阪神大震災以後の建物の耐久構造見直しにより、取り壊したので整備する場所も広がった。第一回は4月16日三十数名が参加して草とり、ゴミ拾い、自分達が中学生時代に植樹した桜の木の手入れなどなど。第二回は4月23日に実施したが、この日は生憎の小雨模様だったため、中止と思ひ多数名しか集まらなかった。しかししっかりと汗を流して奉仕作業。第三回は5月21日に予定しており、しばらく

## リサイクルかたかい 今年も元気に活動開始

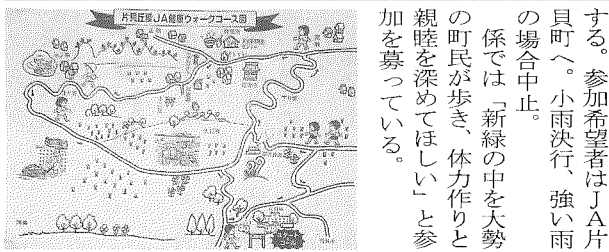


資源の有効利用とゴミ減している「リサイクルかたかい」は、今年も町民に協力を呼びかけて収集活動をスタートさせた。第一回は去る4月6日午前9時から9時半まで、支所前で開催された。空缶、新聞紙、ダンボール、ポリ布、発泡スチロールなどが次々と持ち込まれ、空缶はスチール缶とアルミ缶に分け、機械で潰す作業。新聞紙は今回からチラシを除くことになり、雑誌も業者が引き取らなくなった。今年からは11月まで毎月一回を計画している。

## かたかい春秋

桜前線が足早に過ぎ去り、新緑の度合いも日いちど増し、まさに風薫る爽やかな季節となった。こんな季節に登場してもらった節の中、JA片貝町が絶好の企画第一回片貝丘陵健康ウォークを11日に開催する。近年健康を巡ったり、歩くこと康づくりのために歩く人の魅力に湧きあふれる。健康増進のためにも朝な夕な歩く姿を見かけるようになった。めには、たった一度の歩

## 新緑の片貝丘陵を歩こう！ JA片貝町が11日に第1回大会を開催



JA片貝町は第1回片貝丘陵健康ウォークを、5月11日(日)午前9時から片貝中学校グラウンドで開催する。三島郡片貝町時代、片貝と深い関係があった地域を巡るコースを設定。片貝中一石油資源、不動沢、荒瀬、東谷、阿蔵、平池、平片貝中のコース。参加は無料、完歩証、記念品、飲み物をサービスする。参加希望者はJA片貝町へ。小雨決行、強い雨の場合は中止。係では、新緑の中を大勢の町民が歩き、体力作りと親睦を深めてほしい」と参加を募っている。

## 片貝保育園の異動

新しく小川美雪さん(前西保育園)が着任。バラ組の田中利子さん、キキ組の南雲サユリさん、サクラ組の小船井文子さんの3名が転出した。現在園児数13名、今年の新入園児は37名、属となった。

## 4月23日清酒品評会開かる

第39回自釀清酒品評会(小千谷市酒造組合主催)は、4月23日片貝公民館で開催された。同組合加入の杜氏、蔵人等が自分で造った清酒を持ち寄り、毎年この時期に品評会を開催しており、今年度は104点が出品。審査の結果、片貝町関係は、三位の小千谷市酒造組合の青木俊夫氏(審査委員長)がそれぞれ入賞した。

## 駐在さん替わる

工藤さんが着任。片貝駐在所のお巡りさん片貝が一人替わった。新しく工藤信敏さんが(前見附警察署)が着任、今までの桜井守さんが高速隊湯沢分駐隊に配属となった。





# 赴任して来ました

## 先生方の着任挨拶

【片貝小学校】  
柏崎市立吉小中学校から  
岩田 忠満(49才)

片貝の地域の皆様、お世話になります。

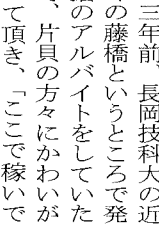
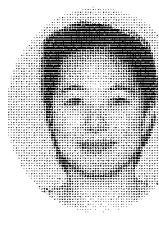
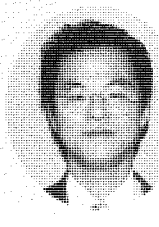
愛知県生まれ、30才で新潟県にやってきました。妻は片貝にいますので、私は単身赴任です。

以前、私が三条でお世話になりました。田口計元校長先生がお勧めになった伝統ある片貝小学校に私が勤めさせていただくことになると思ひもありませんでした。

お力のあった前井口校長先生の後を受けての校長は大変ですが、地域の皆様のご協力と指導をいただき、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

出身地は、東蒲原郡鹿瀬町です。教職について十二年目となりました。妻一人、長女、次女、長男がいます。かなり前から小千谷市に住んでいるので、

だつたため、「明日お弁当が食べたい」と聞かれても、「なんでもいよいよ。お腹いっぱいになれば。」と一言、言うだけです。なので母もなやましく、母の大変さを感じることがなくなり、お弁当にこめられている母の味や気持ちが分かるようになっていきました。



片貝の花火にも何回かおしやましたことがあります。今年片貝の教員として花火を見るのが今から楽しみです。

郷土色が素晴らしい片貝の地で子ども達と元気に楽しく過ごしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

縁あってお世話になることになりました。住まいは越路町です。住まいは片貝小学校に来て感じたことがいくつもあります。子供たちが元気な様子、地域の皆様熱心で協力的

であるということです。また、学校中が花いっぱいであることもいいなと思ひました。子供たちの一人一人のよさをさらに伸ばしていきたい、微力ではありますが、頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

市内塩殿より片貝小まで通っています。片貝町は大変スポーツが盛んな所だと聞いて来ました。私も体を動かす事が大好きです。地域の皆様よろしくお願ひいたします。

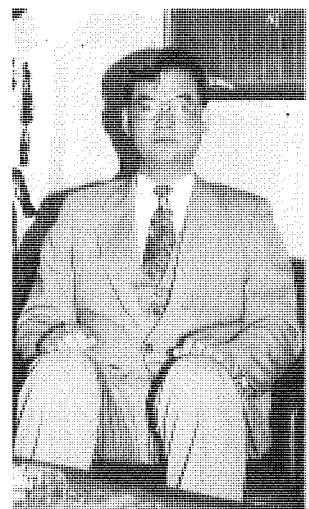
# 片貝 ヒューマンウォッチング

## 館岡校長はバスケット通

今回は赴任早々の館岡信男片貝中学校校長。現出来なかつた母親が子供に託した夢と、学生時代の理科の恩師の感化が大きいという。

片貝中へはもろろん、市内への赴任も今まではななく、校長としても初めての赴任。しかし、片貝中学校を迎えたといえよう。

新潟大学を昭和42年に卒業、その年に岩船郡関谷中学校へ理科教諭として赴任して教員生活のスタートを切った。教諭への道を選んだのは、教諭



「は昭和四十五年前後、見代から伝統的に教育熱心なまちであることを知り、期待するところだ」とのこと。今年開校50周年を片貝中へ赴任してまず感じたことは、スポーツの実績のある学校だけに、スポーツに打ちこむ真摯な姿勢を、勉強や生徒会活動等に今以上に波及してほしい、情熱、責任。いかなる時でもこれを貫くこと。自宅は見附市、家族は奥さんと息子が三人であるが、長男と次男は既に独立しており、現在は三人暮らし。毎朝6時50分に自宅を出発、マイカー通勤している。趣味は登山。先日も学校近くにおきまて来たので、近く校内の廊下に貼り出した、とニコリ。

# お世話になりました

## 離任の先生方から一言

【片貝小学校】  
二度もお世話になりました。わが教職人生の最後を二度もお世話になった片貝小学校で終れることは、誠に感謝致している所です。片貝小学校と片貝町の益々のご発展を念じております。お世話になりました。長岡市立千手小学校へ  
小池 司

【片貝中学校】  
空腹を満腹に変えるためにお弁当を食べていました。が、なにげなく食べているお弁当にもおふくろの味が、我が子への愛情がこめられているのだと思ひ、情を今までも感じることができました。私達には作ってくれる人の気持ちを考える必要があるので、毎日作ってくれ、ことに感謝をし、「ありがとう」と思い続けていきたいと思ひます。

【片貝小学校】  
前田 久美子  
春、満開の桜に感激し、夏、花火の音を胸を躍らせ、秋、校庭の草花を身にしみて、冬はもろろん坂すべり。四季の変化を身体で感じられる素敵な四年間でした。温かく支えていただきました。温かく支えていただき、ありがとうございました。北魚沼郡川口町立 泉水小学校へ  
滝澤 誠子

【片貝中学校】  
湯沢町立湯沢小学校へ  
酒井 勝吉  
わずか二年間でしたが、明るく元気な生徒、協力的な保護者、熱気あふれる地域、生徒第一に考える職員に恵まれ、思う存分仕事をすることができました。感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございます。長岡江陽中学校へ  
竹内 三郎

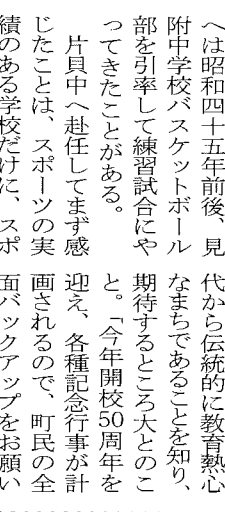
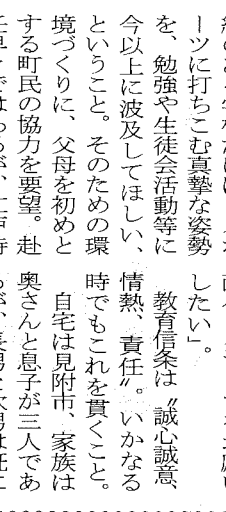
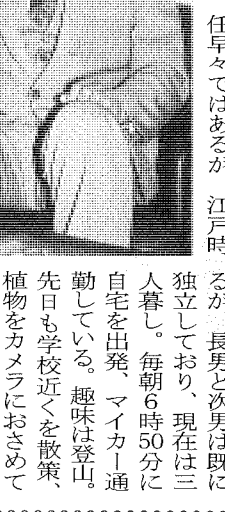
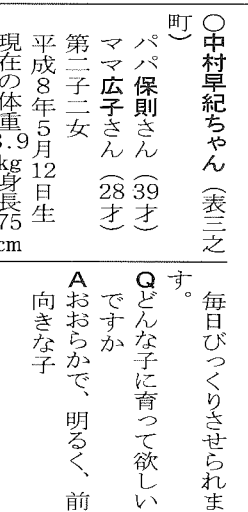
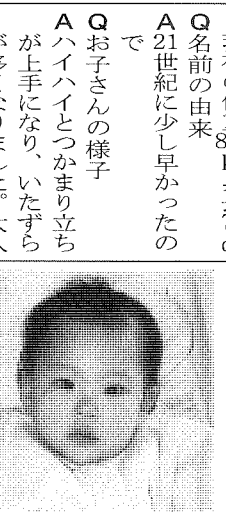
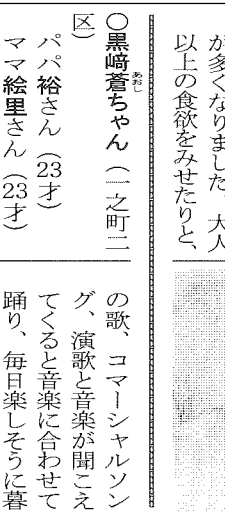
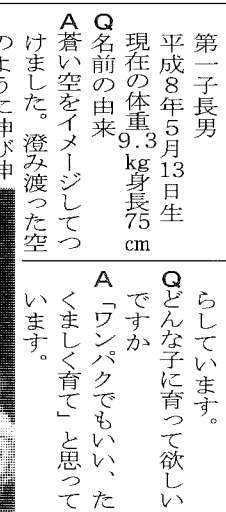
【片貝小学校】  
平成8年5月13日生  
現在の体重、kg身長75cm  
Q 前名の由来  
A 着いた空をイメージしてつけました。澄み渡った空のように伸び伸びと育って欲しいと思ひます。

【片貝小学校】  
平成8年5月12日生  
現在の体重、kg身長75cm  
Q 前名の由来  
A お子さんの様子  
Q ハイハイとつかまり立ちが多くなりました。大人以上の食欲をみせたりと

【片貝小学校】  
毎日びっくりさせられます。どんな子に育って欲しいですか  
A おおらかで、明るく、前向きな子

【片貝小学校】  
の歌、コーマシーソング、演歌と音楽が聞こえてくると音楽に合わせて踊り、毎日楽しそうに暮らしています。  
Q どんな子に育って欲しいですか  
A 「ワンパクでもいい、たくましく育て」と思っています。

【片貝小学校】  
お子さんの様子  
A ポンキッキーズ



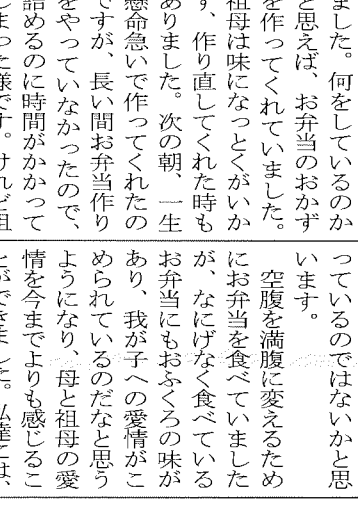
【お弁当の味】  
片貝中二年 黒崎 亜沙子  
学校のお弁当です。中学生になってから毎日お弁当を持って登校してまいりました。毎日なので一番大変なのは母だと思ひます。お弁当を作る事の大変さは私にはまだ分かりません。けれど、朝早く起きて作るの大変だと分かっていました。そこで中学校に入学する前に母と約束をしました。その約束とは、会話の中一言で、その時は、「中学生になったら、お弁当の手伝いを手伝ってあげる。一年生の時は詰めるだけで、二年生になったら全部作って、三年生になったら、受験があるからお母さん作ってね。」と自分でできるか分からないまま口にしてしまいました。今でもはつきり覚えて行きます。なぜなら一回も実行した事がないから心の中にもやもやしたものがあるような気がするからです。こ

「明日お弁当が食べたい」と聞かれても、「なんでもいよいよ。お腹いっぱいになれば。」と一言、言うだけです。なので母もなやましく、母の大変さを感じることがなくなり、お弁当にこめられている母の味や気持ちが分かるようになっていきました。



卵焼きは砂糖の量、火の強さ、焼き方によって毎日味が違います。私は卵焼きの素朴な感じが、いろんな味になるのが好きです。卵焼き一つで母の気分がなんとなく分かってきたり甘くてふくらんでいたり、きれいに巻いてある時、きれいに巻いてある時は、愛情がたっぷりつまっているのを感じます。私には、お弁当のおかずを作ってくれていました。祖母は味になつてくれないか、作り直してくれませんか、と、次朝、一生懸命で作り直してくれました。ですが、長い間お弁当作りをやっていたのか、味がよくなったのか、私にはわかりません。私達には作ってくれる人の気持ちを考える必要があるので、毎日作ってくれ、ことに感謝をし、「ありがとう」と思い続けていきたいと思ひます。

「卵焼きは、いつも入れてもいいよ。」と言っておきました。そんな卵焼きが好きです。しかし、時間がなく、急いでいる時は、おかずの一品では、いろいろな味があるの、卵焼きの味が唯一お弁当の楽しみになっていきます。いくら焦らせても嫌いな物が入っていても私は一言も母に文句を言いません。なぜなら、母は私



【お世話になりました】  
北保育園から  
管理員 広井 勝(37才)

【片貝小学校】  
小池 司  
片貝には、5年間お世話になりました。「かめばかむほど」というように、目をやるほどに片貝のよさがわかってきました。5年目です。何かとお世話

【片貝中学校】  
岩崎 均(33才)  
三條市立大島中学校から  
長岡市の出身で、片貝の町は良く通り、身近に感じました。直接の御縁は今回が初めてですが、十二・三年前、長岡技科大の近くのアルバイトをしていた時、片貝の方々にかわいがって頂き、「ここで稼いで花火上げんきやならん」というお話を伺って驚いた

【片貝小学校】  
前田 久美子  
春、満開の桜に感激し、夏、花火の音を胸を躍らせ、秋、校庭の草花を身にしみて、冬はもろろん坂すべり。四季の変化を身体で感じられる素敵な四年間でした。温かく支えていただきました。温かく支えていただき、ありがとうございました。北魚沼郡川口町立 泉水小学校へ  
滝澤 誠子

【片貝小学校】  
お子さんの様子  
A ハイハイとつかまり立ちが多くなりました。大人以上の食欲をみせたりと

【片貝中学校】  
酒井 勝吉  
わずか二年間でしたが、明るく元気な生徒、協力的な保護者、熱気あふれる地域、生徒第一に考える職員に恵まれ、思う存分仕事をすることができました。感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございます。長岡江陽中学校へ  
竹内 三郎

【片貝小学校】  
お子さんの様子  
A ポンキッキーズ

【片貝小学校】  
お子さんの様子  
A ポンキッキーズ

【片貝小学校】  
お子さんの様子  
A ポンキッキーズ

【片貝小学校】  
お子さんの様子  
A ポンキッキーズ

# ハローベビー

